

# きらめき

第63号

令和6年1月1日

〈発行〉(公社)江田島市シルバー人材センター

江田島市江田島町中央1-15-15 江田島市シルバーワークプラザ TEL(0823)42-5211/FAX(0823)42-5051

大柿支所 江田島市大柿町大原1118-2 TEL/FAX(0823)57-3191

<http://etajima-sc.com/>

## 「地域貢献へのプライドを もって一致団結」



## ボランティアの日入鹿海岸清掃



「きらめき」の意味は、輝く瀬戸内海に浮かぶ美しい江田島で、活気にあふれ、互いに助け合い、しかも自分の持ち味を生かして「きらめき」ながら希望に満ちた有意義な人生を送るシルバー会員のイメージです。

# あけましておめでとう おめでとうございます



理事長  
瀬戸本 三郎  
せともと さぶろう

令和6年の新春を健やかに迎えるに  
なられたことと、お慶び申し  
上げます。

今年も皆様にとりましてより良  
き一年となりますよう祈念申し上  
げます。

平素は、江田島市をはじめ地域  
の皆様から多大なるご支援・ご協  
力をいただき厚くお礼を申し上げ  
ます。

我々シルバー会員一同、地域の  
皆様から信頼と信用されるよう、  
全力で取り組んでまいりますので、  
本年も、一層のご支援をいただき  
ますようお願い申し上げます、新年の  
ご挨拶といたします。



江田島市長  
明岳 周作  
あきおか しゅうさく

江田島市シルバー人材センター  
の皆様、新年あけましておめでと  
うございます。瀬戸本理事長を始  
め、会員の皆様方におかれまして  
は、令和6年の新春を健やかにお  
迎えのことと、お慶び申し上げま  
す。

少子高齢化の今日において、シ  
ルバー人材センターの担う役割  
は、一層重要なものとなっております。  
ます。その中でも、枝葉のチツッ  
化などの事業はSDGs（持続可  
能な開発目標）に貢献する事業と  
して、注目を集めておられます。

最近、そのような活動にぴった  
りの詩を再発見いたしました。私



も敬愛する坂村真民先生の「あと  
から来る者のために」という詩で  
す。周りの人を気遣い、次の世代  
が幸せに生きるために、今心掛け  
ることを詠った素晴らしい詩で  
す。機会がございましたら、御一  
読ください。

今後、江田島市シルバー人材  
センターの一層の発展を願うとと  
もに、会員の皆様の御健勝・御活  
躍を心から祈念いたしました。皆  
様への感謝とお祝いの挨拶とさせ  
ていただきます。



## 市長あいさつ参考文献

あとから来る者のために  
(92歳)

あとから来る者のために

田畑を耕し

種を用意しておくのだ

山を

川を

海を

きれいにしておくのだ

ああ

あとから来る者のために

苦勞をし

我慢をし

みなそれぞれの力を傾けるのだ

あとからあとから続いてくる

あの可愛い者たちのために

みなそれぞれ自分にできる

なにかをしてゆくのだ

参考文献

坂村真民箴言詩集

天を仰いで



# 児童夏休みミニキャンプ



## 児童夏休みミニキャンプに参加して

堀 和利

やるじゃないか シルバー

アブラゼミやクマゼミが泣き叫ぶ一角に、「竹が燃えている」と慌てふためいている人がいた。

7月30日(日)真道山キャンプ場、市内在住14人の児童と保護者およびシルバー人材センター会員との「ミニキャンプ」で、竹の飯盒で米を炊いている場面だ。

開会式で「明岳市長と岡田教育長から大変いい機会だからこの経験を生かしてほしい」と直接激励受けイベント開始となったが、当初の構想では、午前中に炊飯器で米を炊き、カレーを作って、昼から木工細工をする予定。

ところが、「竹の飯盒でご飯を炊こう」さらに「食器やスプーン、コップまで全て竹で児童に作ってもらう」ということになった。

さあ大変。竹の切り出しや、工具の用意と補助員の確保から、米や水加減、炊き上げ時間の確認など未経験のことばかり。

だがやってみれば出来るものだ。  
うまく炊けた。

「ご飯が美味しい・もっと入れて・お代わり」と和やかな時間を過ごした後、児童の表情が一変した。

糸のこ盤を使って木片から型の切り抜きをするのだ。

指導する会員と補助員が見守る中、真剣な顔で一心に糸のこ盤に向き合い、上下に動く歯の動きを目で追い、完成させた時の表情は誇らしげであった。

# 私の趣味

## 私の趣味「カラオケ」

溝口 弘志

30代後半、いやなもの流行。社内旅行、忘年会、新年会、盛り上がっているときに回ってくる「マイク」。

自他共認める音痴。

シルバーの先輩から勧誘されて入会した「鹿川カラオケ愛好会」。

嫌々付き合っているうちに、カラオケ大好きに・・・。

下手だけど歌えるようになっただけでも進歩。いや進化するかも・・・。

## 私の趣味「道の駅めぐり」

堀 和利

「ようきちゃんさったのう」

穏やかな声で迎えてくれるここは、高速浜田道の大朝ICから国道261号を、川本方面に30分の所にある道の駅「瑞穂」。

妻の実家に帰省する度に、野菜

や豆類の購入と休憩箇所であり、

「道の駅巡り」の原点となったところです。

今まで行った道の駅で、もう一度訪ねたいのは「萩しーまーと」

(魚類の多さ)「シルクウェイにちはら」(商品の多種)である。残るは広島県1、山口県8、島根県4箇所で制覇となる。

今年度中には達成させたい。(鳥取・岡山は未定)

## 私の趣味「野球のテレビ観戦」

徳田 隆一

カープファンで当然の事、江田島で生まれ育った関係もあり現在に至っています。カープが負ければ腹が立ち勝利すれば良かったと妻と会話をしております。

球技は多くあるが、特に野球。

サッカー、バレーボールが好きです。高齢者となった今はテレビ観戦となり現在では小さい玉のパチンコで遊んで、ストレス解消をしております。

## 私の趣味「再生」

川霜 博道

小学6年生のころからオートバイに興味を持つ様になり、高校は機械科自動車コースに入りそして卒業。延べ30年近く自動車の修理

畑で働いておりましたが、40歳過ぎた頃、黒くなるのが、少々いやになり全く別な職業に就き、70歳でリタイアし、なぜか「昔取った

杵柄」が忘れられず、家の横に小さな小屋を作り、古くて不動のエンジンに手を加え修理し、息を吹き返した瞬間は、格別うれしいものでした。

健康でいられる間、ボケない間は続けて行きたいと思っております。

## 私の趣味「まつり」

飴野 正彦

今年の八幡神社祭礼の当番は中町が行います。

赤タスキ(地区の責任者)やバチの作成から修理などに携わってきたが、やはり子供たちがたたく太鼓(獅子起こし、トンガラカケ、ミツビヨウシなど)の練習が始まり、その音を聞けば、血が騒ぐ。

祭りといえば酒だ。陽気になれる「酒」が大好きだ。

若いころは、酒好きと語るグループの一員だったこともあるが、今は小休止。



## 社会奉仕活動に参加して

佐山 小百合

10月21日、前日はびっくりするような悪天候。

当日、天が味方してくれて快晴。とても、気持ちの良い秋晴れでした。明岳市長のご参加をいただき、あいさつの中で92才東京女性が現役で、靴磨きのお仕事をされているお話を聞き、とても心動かされ励みになりました。心の持ち方で、奉仕活動もいつもに増して身も心も軽くやる気もでて、楽しく皆さんで力合わせて、あつという間にきれいなになり、ここに来られる人達も、きつと、この自然を満喫して、楽しんで頂けると思いました。

元気で動ける間、92才の女性の方のように頑張つて活動していきます。



## 中国ブロック役員研修会に参加して

大下 郁美  
香川 裕子

10月24日(火) 10月25日(水)に鳥取県米子市で行われたシルバー人材センター連合協議会役員研修会に渡辺事務局長、平本、大下、香川三人の理事で参加しました。

中国5県より多数の参加で盛大に開催されました。

「事業改革を進めるための今後の展望について」と題した研修では、減少している会員の拡大に向けて80歳90歳になっても働けるための、老いと向き合う就業<sup>①</sup>の実践や女性の活躍促進と共にフリーランス新法、インボイス、デジタル化等があげられました。

この中で興味深く感じたのは高齢者の定義についてです。

日本老年学会、老年医学会の高齢者に関する提言で、65〜74歳は准高齢者、75〜89歳を高齢者、90歳〜超高齢者とし、准高齢者は心身が健康で活発な社会活動が可能な人が大多数を占めるので、人手不足の進行はこの年齢層の就業率を上げる。即ち一般雇用がこれまでに以上に延長され70歳代前半はハローワーク等の人手の取り合いになりかねないことです。

高齢法改正等により、高齢者は70才までの雇用確保等の努力義務が盛り込まれた理由で、新規会員の激減。会員拡大をどうするかが課題です。



これからは老いと向き合う就業を基本戦略にシルバーにしかできない就業サービスの提供が会員拡大、地域貢献につながり、会員のさらなる高齢層へのシフトを積極的に受け止めつつ、シルバー会員の年齢が75才〜80才に伸びている中、就業時の安全の確保と会員の健康状況をチェックして、シルバー会員になつてもらう様に、仕事の切り出しや就業場所と住居との移送手段の検討等が必要であるということでした。

二日目。税理士事務所長公認会計士税理士<sup>②</sup>衣目成雄氏のインボイス後の消費税の具体的な仕訳事例の説明を聞き勉強をしました。

この研修会に参加し、女性の活躍促進に貢献できるよう健康管理に努め頑張りたいと思っていました。

## 視察研修に参加して

加藤 博子

11月14日 好天の下30人余りで視察研修を目的に安芸高田市シルバー人材センターへ伺いました。

収穫の終わった田園風景や紅葉を車窓から眺めながら着いた安芸高田市。人口は江田島市の方が少ないがほぼ一緒。高齢化率も同様。面積は何と江田島市の5倍もある。歴史的な史跡や文化があり郷土芸能の継承で活性化を図る。シルバーの仕事は安全就業に取り組みながら抜きうちパトロールをしたり、作業前の注意喚起を強化したりで今年度全シ協の「安全就業シルバー人材センター優秀賞」を受賞された。昨年視察した大竹市シルバー人材センターと同じくインターも近く流通がいいので、マツダの自動車部品を扱う作業があったりで江田島市シルバー人材センターとしてはうらやましい。午後には互助会の親睦旅行として庄原市に移動して、昼食、入浴、カラオケで会員同士の親睦を深めました。



市民の皆様へ

シルバーウィークプラザの  
利用料について

シルバー人材センターの研修室及び和室を自主グループ等の会合で使用することができますので、ぜひご利用ください。

会議室等名	利用単位	利用料金 (税込)
研修室	1時間につき (1時間未満切り上げ)	330円
作業室兼研修室 (和室)	1時間につき (1時間未満切り上げ)	300円
冷暖房費 (共通)	使用料の5割 (10円未満切捨て)	

(公益上又は特に必要と認められる場合は、利用料金を減額又は免除することができます。)



## 児童夏休みミニキャンプ アンケート結果抜粋 (参加者 14人)

(1)このイベントで良かったと思ったことは？  
 皆でふれあえて、カレーなどを作ったりしたこと (6年)  
 後ろで見守ってくれていたこと (5年)  
 竹で炊いたご飯、お皿やスプーン作り (4年)

(2)このイベントで少し変えた方が良かったと思ったことは？  
 若い人を増やす (6年)  
 自分たちで火をおこした方が、キャンプっぽくなると思った (4年)

(3)今度は何がしたいですか？  
 工作!! (6年)  
 別の料理を作る (5年)  
 物作り (4年)